



富士河口湖町

議会だより



第14回 富士河口湖町もみじマーチ

20km完歩目指してスタート

- ◆議長就任あいさつ —————2p
- ◆議会役職一覧表—————3p
- ◆こういうことを決めました———4～6p
- ◆決算特別委員会—————7～8p
- ◆ここが聞きたい 代表一般質問—9p
- ◆特集 紀伊山地の霊場と参詣道の世界遺産
—————10～11p





議長に

渡 辺 武 彦 議員



副議長に

渡 辺 周 次 議員

さる、十月十七日に開催された第九回臨時議会において、第四代議長に渡辺武彦議員が推薦を受けて選出されました。又、副議長には渡辺周次議員が選出され、各常任委員会が構成されました。

議長就任のあいさつ

富士河口湖町議会議長 渡 辺 武 彦

議長就任にあたり、一言ごあいさつ申し上げます。
去る十月十七日一般選挙後の富士河口湖町初議会におきまして、議員各位のご推挙をいただき、議長の要職に就かせて頂くことになりました。

誠に身にあまる光栄と同時にその使命と責任の重大さを痛感し、誠心誠意職務を全うする覚悟でございます。議会運営におきましては、不偏不党、公正無私の立場で精励し、執行部と共に富士河口湖町の発展に努力すべく、心を新たにしている次第です。

さて、一昨年の十一月十五日合併以来二年余りが経過し、今、町においては小佐野町長が提唱している「安心・安全・安定」を機軸に、住民と行政が協調したまちづくりが推進されていますが、これまで新生富士河口湖町を支え各般に渡りご努力頂き、去る十月十五日に任期を終えられた初代議員各位に對

し、深甚なる敬意を表すと共に今後においても、町の進展にご協力をお願いするものです。

今、海外においては、米国ルイジアナ州を襲ったハリケーンによる被害、さらに、多数の死傷者が出たパキスタン地震など暗いニュースが相次ぎ、新潟中越地震も震災から一年余りが経過しました。当地域においても、想定されている大地震や富士山噴火の備えとしまして、対応マニュアルの整備に加え自然災害への対応強化や積極的な安全確保が必要であります。

さらに、国政では、小泉内閣が最大の政策目標として掲げている、「聖域なき構造改革」が推進されていますが、富士河口湖町におきましては、新町建設計画の将来像として「富士山と湖と高原のまち・日本の湖水地方」を、まちづくりの目標として掲げています。

来年三月一日には上九一色村南部が加わることに、当初狙いとしたまちづくりの実現となり、創意工夫を重ね魅力ある町の形成に、執行部と議会が一丸となって取り組んでいくことが我々に課せられた使命と責任であると感じております。

私達議会人としていたしましても、町民の皆様の負託に応え、福祉を基本としつつ信頼される議会を目指す所存であります。

今後とも町民の皆様のご協力とご理解をお願い申し上げます。

富士河口湖町議会役職一覧表

平成17年10月17日改選

議 長	渡 辺 武 彦	副 議 長	渡 辺 周 次
総務常任委員会委員	(長)堀内 弘一 (副)古谷 芳信 渡辺金一郎 三浦 康夫 渡辺 周次 渡辺 武彦		
文教社会常任委員会委員	(長)渡辺余緒治 (副)梶原 義美 渡辺 凱保 高山 泰治 白壁 賢一 倉沢 鶴義		
産経土木常任委員会委員	(長)小佐野弘士 (副)駒谷 隆利 大石 真六 古屋 一哉 小川 清治 流石 市朗		
議会運営委員会委員	(長)倉沢 鶴義 (副)白壁 賢一 渡辺 凱保 古屋 一哉 渡辺余緒治 堀内 弘一 駒谷 隆利 小佐野弘士		
議会だより編集 特別委員会委員	(長)高山 泰治 (副)渡辺金一郎 梶原 義美 三浦 康夫 渡辺 凱保 大石 真六 堀内 弘一 流石 市朗		
監 査 委 員	小佐野弘士		
富士五湖広域行政事務組合議会議員	渡辺 凱保 堀内 弘一 古谷 芳信 白壁 賢一		
青木ヶ原衛生センター 議 会 議 員	梶原 義美 三浦 康夫 渡辺 凱保 大石 真六 古屋 一哉 渡辺余緒治 小川 清治 堀内 弘一 駒谷 隆利 流石 市朗 古谷 芳信 渡辺 武彦 高山 泰治 小佐野弘士 倉沢 鶴義		
鳴沢・富士河口湖恩賜県 有財産保護組合議会議員	梶原 義美 渡辺金一郎 渡辺 凱保 古屋 一哉 渡辺余緒治 白壁 賢一 小佐野弘士 倉沢 鶴義		
河口湖南中学校校 組 合 議 会 議 員	梶原 義美 渡辺 凱保 大石 真六 古屋 一哉 渡辺余緒治 小川 清治 渡辺 周次 渡辺 武彦 小佐野弘士		
青木が原ごみ処理組合議会議員	流石 市朗 古谷 芳信 倉沢 鶴義		
農 業 委 員 会 委 員	小川 清治 小佐野弘士		
河口湖治水委員会委員	三浦 康夫 古屋 一哉 渡辺余緒治 渡辺 周次 堀内 弘一 駒谷 隆利 流石 市朗 高山 泰治 小佐野弘士 倉沢 鶴義		
湖 南 水 道 事 業 常 任 委 員 会 委 員	渡辺金一郎 渡辺 凱保 小川 清治 流石 市朗 渡辺 武彦 白壁 賢一		
消 防 委 員 会 委 員	渡辺金一郎 渡辺 周次 駒谷 隆利		
地 域 審 議 会 委 員	三浦 康夫 渡辺 周次 堀内 弘一 流石 市朗 古谷 芳信 高山 泰治 小佐野弘士 倉沢 鶴義		
都市計画審議会委員	三浦 康夫 渡辺余緒治 渡辺 武彦 高山 泰治		
国民健康保険運営協議会委員	梶原 義美 渡辺 凱保 古屋 一哉 駒谷 隆利 倉沢 鶴義		
地下水保全審議会委員	大石 真六 小川 清治		
温泉事業運営審議会委員	渡辺金一郎 古谷 芳信 高山 泰治		
下 水 道 審 議 会 委 員	渡辺金一郎 渡辺余緒治 駒谷 隆利 流石 市朗		
山梨赤十字医療施設経営審議会委員	梶原 義美 大石 真六 高山 泰治 白壁 賢一 倉沢 鶴義		

こういうことを 決めました。

平成十七年第三回定例会が九月五日から十二日までの八日間開催され、次の議案が原案どおり可決されました。

○一般会計補正予算 (第八号)

歳入歳出にそれぞれ七千九百四十二万八千円を減額し、総額を百六億三百八十一万円とする。歳入は、繰越金一千二百七十四万七千円を増額、合併特例事業債一億二千三百四十万円を減額、歳出は、塵芥処理委託料四千八十五万四千円を減額、富士登山道線道路整備工事費七千八百四十六千円を減額、補償費一千三百七十七万六千円を減額が主なものである。

○船津財産区特別会計補正予算

(第二号)

歳入歳出にそれぞれ四千六百四十四万九千円を増額し、総額を三億六千四百四十万とする。歳入は、土地建物貸付収入七百五十四万六千円を減額、雑入四千九百十九万五千円を増額、歳出は予備費四千六百四十四万九千円が主なものである。

○国民健康保険特別会計補正予算

(第一号)

歳入歳出にそれぞれ八千六百六十一万四千円を増額し、総額を十九億六千四百五十万七千円とする。歳入は療養給付

費交付金二千万円、繰越金六千六百六十一万一千円、歳出は、退職被保険者等療養給付費五千万円、予備費二千五百六十一万四千円が主なものである。

○下水道事業特別会計補正予算

(第二号)

歳入歳出にそれぞれ五千六百十五万円を増額し、総額を十八億九千九百七十六千円とする。歳入は、公共下水道事業債一千九百五十万円、一般会計繰入金二千五十万円、繰越金一千六百十五万円、歳出は委託料一千九百五十万円、公共下水道工事請負費三千六百万円が主なものである。



下水道現場

○地域審議会に関する条例の制定

合併前の河口湖町、勝山村、足和田村、上九一色村の区域ごとに地域審議会を設

置して、組織及び運営に関して事項を定める。期間は平成十七年十月十六日から平成二十六年三月三十一日までで、委員は十二人以内で任期は四年とする。地域審議会は、区域に係る新町建設計画の変更、新町建設計画の執行状況、地域振興のための基金の活用、新町の基本構想の作成及び変更などの事項について、町長の諮問に応じて審議し、答申する。

○公の施設に係る指定管理者の指定手続等に関する条例の制定

本町の公の施設の管理を行わせる指定管理者の指定の手続きに関して必要な事項を定める。

○特別工業地区建築条例の制定

富士河口湖町船津、小立地区の一部に都市計画の用途地域が指定されており、用



特別工業地区

途地域の中に「準工業地域」に土地利用の増進、環境保全の特別目的の実現を図るため用途地域の補完として「特別工業地区」を指定する。

平成十七年第七回臨時議会が七月十五日に、第八回臨時議会が八月三日に開催され、次の議案が原案どおり可決されました。

第七回臨時議会の議案は次のとおりである。

○下水道事業特別会計補正予算（第一号）

歳入歳出にそれぞれ九千二百八十万を増額し、総額を十八億四千二百九十二万六千円とする。歳入は下水道高金利対策借換債一億四十万円を増額、繰越金七百六十万円を減額、歳出は町債元金償還金九千九百七十九万円を増額、町債利子償還金六百九十九万六千を減額する。

○一般会計補正予算（第三号）

歳入歳出にそれぞれ三千五百万円を増額し、総額を百六億五千五百五十七万二千円とする。歳入は文化振興事業基金繰入金三十五万円、歳出はアメリカ鱗翅学会参加補助金三十五万円である。

○（仮称）健康指導センター新築工事請負契約締結

契約の方法 公募型指名競争入札

契約金額 二億六千七百七十五万円

契約の相手方 コバヤシ工業・井出工業

富士河口湖町健康指導センター

新築工事共同企業体

○財産の取得

用途 （仮称）桜公園建設用地

所在 富士河口湖町長浜字東八杭 長崎八杭坂 大輪、浜端



（仮称）桜公園建設用地

地番 二十二番 外六十五筆
地目 山林 外
面積 七万五千三百九十七・八六㎡
金額 二千二百六十一万九千三百五十八円
（登記簿面積）

○西湖いやしの里根場茅葺屋根建物六棟

新築・厨房棟新築等工事請負契約締結

契約の方法 随意契約

契約の金額 二億一千万円

契約の相手方 株式会社 石川工務店

第八回臨時議会の議案は次のとおりである。

○一般会計補正予算（第四号）

歳入歳出にそれぞれ一千九百四十六万五千円を増額して百六億七千五百三十七万七千円とする。主な歳入は合併推進事業債（上九一色コミュニティセンター整備事業債）一千五百四十万円、歳出は上九一色コミュニティセンター建設負担金一千七百十万円、河口災害救助隊装備品購入費補助金四十六万五千円である。

○大嵐町営住宅建設工事請負契約締結

契約の方法 一般競争入札

契約金額 五億五千二十万円

契約の相手方 富士土木・梶原工業所

富士河口湖町大嵐町営

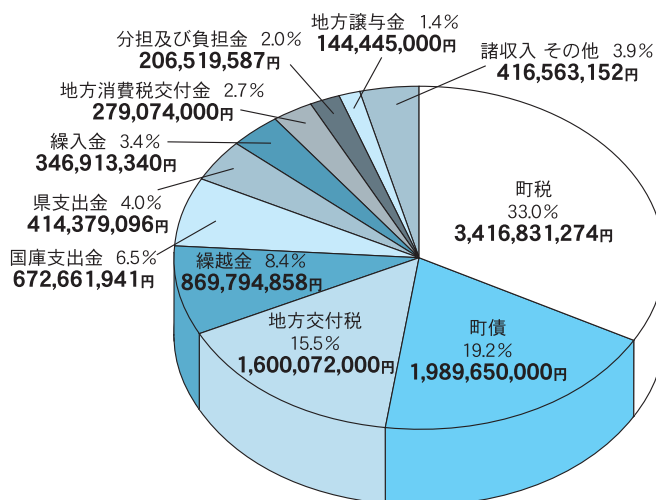
住宅建設工事共同企業体



大嵐町営住宅建設現場

一般会計決算報告

歳入 103億5,690万4,248円



決算審査意見書によると、財政の推移は、財政状況において引続き社会経済の低迷が予想される昨今、地方財政の責務は、住民の期待に応え、適切にその役割を果たしていくため、行財政の効率化や経費節減等の合理化を推進し、限られた財源の中で重点的かつ効率的な運用に徹し、健全な財政運営を努めることを切に希望する。

財政運営の状況は、総体的にみて健全であり、かつ適切であったと思われる。町の主な財源である税収入については、町税現年分の徴収率は96.47%、滞納繰越分徴収率は29.53%で、現年度分と滞納繰越分を合わせた徴収率は89.56%となっている。町税の滞納については依然として多くある中で、収納対策班による滞納分の徴収率のアップを目指し、努力を望む。

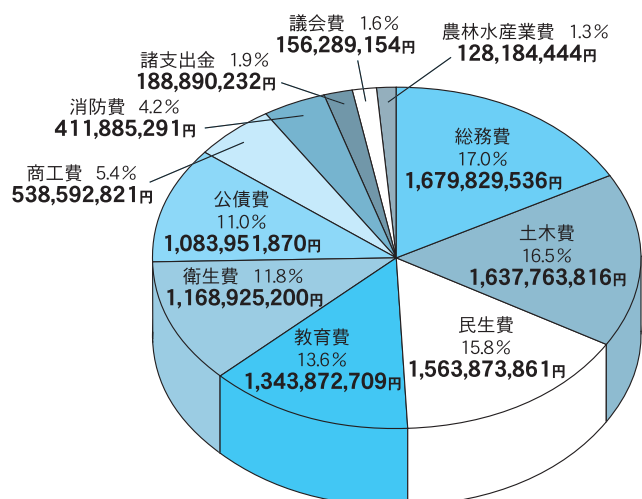
また、悪質な滞納者に対しては、滞納内容の調査を行い、差し押さえ処分の実施等、積極的な事務処理をお願いしたい。

なお、平成16年度の決算において、歳入全体の不納欠損処分額のうち、大部分を占める固定資産税滞納繰越分については、現状での経済情勢を考慮すると、今後も増加していくことも予想されるが、収納対策班の益々の活躍に期待する。

歳出の執行については、本年度114億3,149万5,000円の予算に対し、決算額は99億205万8,934円となっており計画的、効率的に執行されている。

総体的に、適正な予算編成、予算執行が行われており、今後も状況に応じた健全な財政運営が図られることを要望する。

歳出 99億0,205万8,934円



□特別会計

(単位:円)

会 計 別	歳入総額	歳出総額	会 計 別	歳入総額	歳出総額
船 津 財 産 区	3億2,898万8,841	9,826万5,094	老 人 保 険	16億6,991万6,834	16億5,750万5,898
小 立 財 産 区	7億0,807万6,411	2億8,641万2,323	介 護 保 険	7億7,767万9,168	7億6,212万0,122
大 石 財 産 区	3,991万7,643	1,719万1,034	居宅介護支援事業	1,212万9,494	852万2,232
河 口 財 産 区	8,920万5,427	1,173万3,504	船津公園墓地事業	1,161万3,735	1,037万3,116
西深沢外十三恩賜県有財産保護財産区	400万8,830	186万4,055	小立公園墓地事業	1,398万5,697	656万7,257
勝 山 財 産 区	2億7,133万9,560	2億4,239万3,339	勝山墓地事業	177万0,838	36万3,564
長 浜 財 産 区	197万5,047	161万0,500	大石簡易水道事業	3,039万2,417	1,698万3,679
西 湖 財 産 区	1,064万1,270	692万2,625	松風台簡易水道事業	834万9,294	317万0,132
大 嵐 財 産 区	5,355万9,507	4,983万3,874	河口簡易水道事業	5,102万4,528	4,208万0,645
青木ヶ原外七字及小倉山外七字恩賜県有財産保護財産区	94万3,236	67万2,993	足和田簡易水道事業	6,146万0,794	5,318万2,128
小立簡易郵便局事業	989万8,412	540万6,764	下 水 道 事 業	15億4,822万2,585	14億3,222万4,485
河口湖治水事業	5,788万6,530	2,429万9,642	温 泉 事 業	1億4,237万8,457	1億3,597万7,592
国民健康保険	21億2,633万2,714	20億5,471万8,420			

決算特別委員会

質議応答

委員長 梶 原 恒 夫
副委員長 梶 原 忠 雄

企画課関係

質問 カレンダーが十五円アップされたということだが、詳しい説明を求める。

答弁 カレンダーと広報等を自治会に入っていない人を対象に、シルバークリートセンターの派遣員により配布しているが、それに関わる費用が四十円から五十五円になり、十五円アップというわけで、カレンダー本体ではない。

環境課関係

質問 環境マネジメント費ということで環境に対してヨーロッパ基準に適合すると言っていることだが、どのような効果があるかを伺いたい。

答弁 ISO 14001は、職員にも浸透してきており、当然裏紙・紙をむだにしない、不要場所の電気を消す、当然そういうことは行っているが、さらに推



河口の清掃センター

進めていくためにも新しい施設も含めて今年勝山、足和田出張所もサイトとして登録をした。これから更に学校関係を進めて、ますますISOを維持継続していくために努力していきたい。

質問 アルミ缶等プレスした物を売却して収入を得ているけれども、各年度の売却単価を伺いたい。

答弁 今現在、河口の清掃センターで処理しているアルミ缶及びスチール缶の二種類をプレスして資源として排出しているが、アルミ缶は、一キロ七十円、スチール缶は、

一キロ十四円で販売している。(ここ二、三年は価格に変動はない。)

農政関係

質問 今

大石地区において、ブルーベリーさくらんぼというなかで大変努力しておりまして、他の地区について、何か考えておられるか伺いたい。



遊休農地

が少ない状態である。ほとんどの方が、家庭菜園程度で、そこに遊休農地を解消するために何か新たな物というのは、少し難しい。いろいろ検討

答弁 まず、一番河口湖北岸でやりやすかったのは、専業農家があり、栽培組合というのもあり、新たな事業を展開する素地が人的にも、畑もあったわけである。他の地区では、農業を専業にされている方

研究は進めてはいるが、まだ具体的にはない状況である。

総務課関係

質問 合併前の地方交付税は保証されているのか

伺いたい。

答弁 普通交付税は、合併前に今までもらっていた旧三町村合わせた金額が保証されているものではない。国の方策は地方交付税は年々減っていく改革をしているので、減っていくことだが、全国的に見て合併した町村は合併特例法のある間は有利ではあるが、金額が保証されるものではない。

生涯学習関係

質問 グランド及びサッカー場の使用状況、使用料について伺いたい。

答弁 町民の使用については主に夜間、土日を優先している。町民は二ヶ月前、民宿・旅館の利用客は一週間前からの申し込みというように差がある。町民は昼間の使用料は無料、夜間は電気料を支払う。町外の方は二倍の電気料を支払う。町民については時間貸し、学校の生徒については半額、使用料のほとんどは、町

外のいわゆる観光客のものである。

税務課関係

質問 不納欠損について伺いたい。

答弁 不納欠損については総務課の収納対策班が担当しており、五年以上経過したもの、微収不納に該当するものについて、規約にもとづいて決定している。

質問 納税組合の実態について伺いたい。

答弁 平成十六年度予算時は五十七の納税組合があったが平成十六年度に五十四になり、平成十七年度は四十八になっている。

質問 固定資産税の徴収について伺いたい。

答弁 九十四・八四％の徴収率である。収納対策班、収納第二係、税務課職員十二名だけでなく、ほかの役場職員が一丸となつて協力しながら滞納整理を懸命に行っている。

学校教育関係

質問 豊かな心を育てる事業について伺いたい。

答弁 各学校とも学校の状況によりそれぞれ特徴を出しながらこの事業に取り組んでいる。たとえば朝の十分間の全校一斉読書活動とか、保護者から子供たちへの読み聞かせ指導、農園での勤労体験学習などがある。



船津小学校図書館

質問 どのような理由で要保護、準要保護が増えているのか伺いたい。

答弁 まず母子家庭が増えていること、失業、収入面が厳しい方が増えていることである。

質問 図書の購入状況について伺いたい。

答弁 小学校七校で百六十万円ほど購入している。図書購入基金を地元からいただいで、その利子の

運用を利用しているところもある。学習指導要領に沿って必要な図書を中心に購入している。

水道課関係

質問 下水道事業に関して、未収入額が千九百八十万円あるが、その対策について伺いたい。

容と各地区の状況について伺いたい。

答弁 アパート、宅地分譲、工場等の開発を行うために水道施設を改修する費用である。船津地区十一件小立地区十棟以上足和田地区は新規水道加入負担金は四件である。各地区合計で合計金額が千三百万円である。



学生マンション

答弁 平成十三年頃から大口三件が滞納しているの
で、課長以下二名で毎月訪問している。時効が発生しないように幾らかずつでも入金をお願いしている。

質問 上

水道事業について寄付金（施設整備協力金）と足和田地区の加入負担金の内

農林課関係

質問 遊休農地の現地調

査とアンケート事業の結果について伺いたい。

答弁 調査対象は農地所有者千百世帯、回答率三十一％で、その中で現状維持が六十六％、将来縮小が三十二％で、中には貸したり、売却したいと考える人もいる。また、遊休農地の現状を四段階に分けると、「すぐ植えることが可能A」「二、三回程度耕作必要B」「耕運機が必要C」「抜根整地作業必要D」で分けられる。

地域的に旧河口湖町の遊休農地四十六ヘクタール、遊休率十一％、旧足和田村十ヘクタール、遊休率二十五％、旧勝山村遊休地面積五・一ヘクタール、遊休率二十八％である。県内平均十五％で郡内地域は遊休地率が高い。

質問 長浜地区サクラ公園計画、今後の方針とサクラの種類について伺いたい。

回答 日本サクラ協会と相談してこの地区に合う四季咲のサクラを四から五種類を検討している。

ここが聞きたい!

いっぱい

質問



望月幸子 議員

町の少子化対策について

質問 人口減社会が叫ばれる中で、当町が重点的に取り組む少子化対策と子育て支援について。

福祉推進課長 町は子育て支援に全力をあげて取り組んでいる。子ども、親、利用者、地域の視点に立って総体的に考え、ソフト、ハード両面において環境整備に努めている。子育て家庭が安心して生活ができるためには保育サービス、保育サポ



未満児保育専用の「こもも保育所」

ートは大きな支援であると思っている。未満児保育専用の「こもも保育所」は全県下に例をみない施設として注目されている。

入所者は、年々増加を続け、現在は八十名を数えている。このままだと今後の入所は厳しく、将来展望にわたっての整備を考えている。こもも保育所の隣地を取得して、十八年度は増築整備を図り

子育て支援に依っていく。**健康増進課長** 小児救急医療の体制については、あくまで迅速な体制で対処する必要性に迫られている。町内の小児科医師は、山梨赤十字病院に三人、町の開業医二人の計五人。これに富士吉田市立病院に三人、開業医二人、両市と町で十名の医師によって対応できる。

続いて不妊治療を望む方への支援としては、県事業として費用の一部が助成され、その額は一年度当たり十万円、二年を限度としている。なお、県民情報プラザに不妊相談センターを開設。本町では、通常業務の中で保健婦が対応している。

心をつなぐ
あいきつについて

心をつなぐあいきつについて

質問 町内小中学校が連携して推進している「あいきつ運動」を町全域へ浸透させるためには。

教育長 豊かな心をもつ子どもたちの育成のため、学校、家庭、地域が一体となつて取り組むべき課題として、声かけ、あいきつ運動の推進が叫ばれている。町の小中学校では、児童会や生徒会が中心となり自主的に運動が展開されている。

訪問者に対する子どもたちのあいきつは、大人の心を潤し、教育の成果を改めて実感させる。

このような基本的生活習慣を身につけるためには、保護者や家庭の担う役割が特に大きいと考え

る。家庭や親のあり方が、子どもに強い影響を与えることを常に重く受けとめ、地域の懇談会などで温かく潤いある家庭環境についての話し合いを進めていきたい。

総務課長 行政サービスの基本となるあいきつについては、職員が生まれ

育つ過程で身につけてきた基本的要素に加え、県市町村研修所において、新任時、その後随時、公務員として信頼される人間関係を築くための知能と技能の応用力を身につけるための研修をしている。

合併時には、さらに全職員対象に専門コンサルタントによる行政サービス向上を目指す接遇研修を行ったところである。

いずれにしても、改めてあいきつという儀礼的動作を喚起するとともに自らも進んであいきつを心がけている。

改修を待つ中央公民館

質問 中央公民館の内部改修計画が示されたが、その間利用者の活動場所はどうなるのか。

生涯学習課長 中央公民館は、生涯学習の拠点として文化活動、研修会、会議等の会場として最も多くの町民に利用されているが、開設から三十一年が経過、老朽化したため、来年度と再来年度を

かけ改修する計画である。

しかし、地下実習室は、配水管が壊れ、使用不能となり、老人給食を調理されている食改推の方々をはじめ多くの皆さんにご不便をかけている現状だが、社会福祉協議会には他の調理室を備えている施設を探し、善処するよう伝えているところである。

質問 リニューアルされた中央公民館の施設について改めて伺いたい。

町長 狭小で老朽化した館内にある図書館が、やがて完成した生涯学習館へ移った時点でリニューアルの段階となる。改修後、部分的には、旧教育委員会事務局を女性の活動拠点に位置づけ、旧教育長室は、女性のカウンセリングルームを含めて、相談室の機能を発揮させたいと考えている。

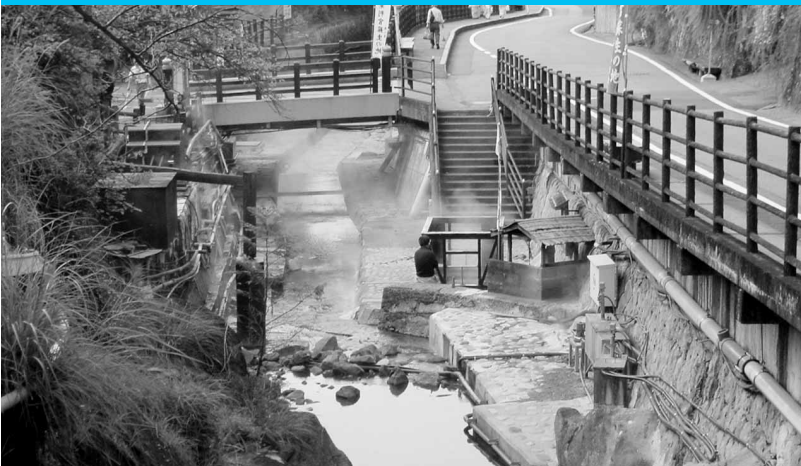
なお、図書館跡については、保健センターあるいは多目的な使用の方向付けをしたい。

いずれにしても、女性の皆さんとお約束した活動拠点に期待していた

だき、さらなるご活躍とご発展をお願いしたい。

⑨紙面の関係で、内容の一部のみの掲載です。

9月29日～30日 「霊場と参詣道」における研修 ンター（田辺市）を訪ねて



湯の峰温泉

日本最古の開湯（1008年）。熊野詣での湯垢離場（ゆごりば）として栄え、「つぼ湯」は世界遺産に登録された世界初の温泉浴場。

今回の研修は熊野古道の一部、熊野本宮大社から熊野本宮旧社地（大斎原）までを中心に、辻林指導員の説明を受けました。



現在の熊野本宮大社

かつては「熊野坐神社」と呼ばれた神社で、熊野川の中洲（大斎原）に古代の創祠以来鎮座していたが、明治22年（1889年）の大水害で罹災した後、流失を免れた主要社殿、三棟を明治24年（1891年）に現在地に移築し、再建したものである。



大鳥居

本流熊野川と音無川、岩田川が合流するところに、木々の茂る中洲がある。大斎原と呼ばれ熊野本宮大社はかつてここにあった。

平成12年、大斎原にかつての壮大な社地を忍ばせる、高さ33.9mの大鳥居が建立された。

熊野本宮大社（旧社地大斎原）



国内の世界遺産

(1) 法隆寺地域の仏教建造物	1993	(8) 原爆ドーム	1996
(2) 姫路城	1993	(9) 古都奈良の文化財	1998
(3) 屋久島（自然遺産）	1993	(10) 日光の社寺	1999
(4) 白神山地（自然遺産）	1993	(11) 琉球王国のグスクおよび関連遺跡群	2000
(5) 古都京都の文化財	1994	(12) 紀伊山地の霊場と参詣道	2004
(6) 白川郷・五箇山の合掌造り集落	1995	(13) 知床（自然遺産）	2005
(7) 厳島神社	1996		

※屋久島・白神山地・知床は自然遺産、その他は文化遺産。

私たち富士河口湖町民の誇りであり、日本の象徴である富士山を世界遺産に登録できるよう、住民各位のご協力をお願いして研修報告といたします。

特

集

議会、町執行部県外視察研修

世界遺産「紀伊山地の

和歌山世界遺産セ

10年ほど以前、山梨県、静岡県の両県で富士山を世界遺産に登録しようという市民運動が盛り上がりました。この時は、富士山をめぐる様々な問題により、政府は富士山を世界遺産（自然遺産）として推薦することを見送りました。

しかしそれ以降、地元市民やNPO等の努力もあり、富士山にかかわる様々な環境問題は着々と解決される方向に向かっていきます。

また、ユネスコの世界遺産委員会で文化遺産の基準が見直され「文化的景観のカテゴリー」という基準が設けられ、富士山が世界遺産に推薦される道も開かれました。

富士山は、日本人と日本の文化に、古来から常に影響を与えてきた極めて文化的な存在です。「文化的景観のカテゴリー」での登録がもっとも可能性が高いと思われます。

このたび、富士山のお膝元の自治体として世界遺産登録に対し積極的な関わりを持つために、議会は町執行部と共に「紀伊山地の霊場と参詣道」について和歌山県熊野へおもむき、研修をしてまいりました。

「紀伊山地の霊場と参詣道」こそ、2004年に日本で初めて「文化的景観」が適用された世界遺産です。

（注）文化的景観…天然と自然と人が作り出した景色がバランスよく保たれていること。

和歌山県世界遺産センターの辻林指導員による講演会（要約）

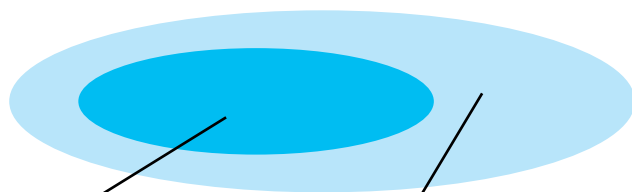
「―富士山は古来より霊峰として富士山信仰が伝えられるとともに、多くの国民に親しまれている、日本を代表する名山である。総合的に調査、研究を深め、この価値を守るために早期に世界遺産に登録することを期待する。―平成12年11月、文化審議会において富士山について、このようなコメントを発表し文化庁に提出しています。

遺産の法的保護（コアゾーンとバッファゾーン）をどのように設定するかが登録への重要なポイントですが、富士山の登録については十分な可能性があるのを期待しています。

登録までにはいろいろな問題点を克服しなければなりませんが、地域の方々への説明会やシンポジウムを開催し、そこに暮らす人たちのコンセンサスをとっていくことが重要です。」



世界遺産のゾーン構成



コア・ゾーン

保護されるべき遺産そのもの
（国指定史跡・重要文化財等）

バッファ・ゾーン

コア・ゾーンをとりまく緩衝地帯
（市町村条例等）

コア・ゾーン

保護される遺産そのもの。（国指定史跡・名勝・天然記念物・重要文化財等として指定されたもの）

バッファ・ゾーン

コアゾーンのまわりの緩衝地帯。遺跡周辺の環境、景観保護のため、市町村条例等により土地利用を限定する。

議員活動状況報告（抜粋） 7月～9月

7月

- 1日 富士山・河口湖山開きまつり神事
- 5日 京都府野田川町議会建設農林常任委員会研修来庁
- 8日 議会運営委員会、第6回臨時議会、議会全員協議会
- 10日 ハーブフェスティバル クルージング
- 15日 議会運営委員会、第7回臨時議会、議会全員協議会
- 20日 県グラウンドゴルフ大会（準優勝）
- 21日 （仮称）健康指導センター起工式
- 26日 群馬県新治村議会運営委員会研修来庁
- 30日 第8回河口湖交流レガッタ

8月

- 2日 西湖竜宮祭式典
- 3日 議会運営委員会、第8回臨時議会、議会全員協議会
- 5日 河口湖湖上祭式典
- 8日 埼玉県玉川村議会研修来庁
- 9日 大嵐町営住宅起工式
- 17日 議会全員協議会
- 18日 南アルプス市議会研修来庁
- 18日 議会全員協議会
- 22日 議会全員協議会
- 25日 岩手県町村議会議長会政務調査会研修来庁
- 31日 議会運営委員会

9月

- 4日 町総合防災訓練
- 5日 第3回9月定例会（～12日まで）
- 6日 決算特別委員会（～12日まで）
- 11日 衆議院議員総選挙
- 25日 町議会議員一般選挙
- 29日 紀伊山地の霊場と参詣道の世界遺産研修（～30日まで）



写真部門 特選
広報紙部門 奨励賞



平成17年度第23回山梨県町村議会広報コンクールにおいて、平成16年8月4日発行第3号が写真部門で「特選」、平成16年11月16日発行第4号が広報紙部門で「奨励賞」を受賞しました。

定年退職して



ミャンマーの農村にて、稲刈りをしていた農夫と

四十三年余り公務員として、お客様への奉仕の心を築き、無事定年を迎え二年余りが過

ぎ、富士河口湖町の誕生と同時に私の第二の人生が始まりました。毎日の時間との闘いが嘘のようになり、毎日が日曜日と喜んでいますが、このままでは体が鈍ると思い、趣味の山歩きと農業に取り組み、土との触れあいや収穫の喜びを噛みしめている。今日この頃である。今まで、地区の役に



もたたずに、ただひたすら勤めを優先した事々を反省し、推され

力して無事任務を果たしました。また、勤務の関係で長期休暇も取れなかったが、定年を機会に海外旅行に行き見聞を広めた事は、私の人生にとつて大きな成果であった。特に、先の太平洋戦争で戦死した父の永眠するミャンマー（旧ビルマ）の地へ慰霊参拝に訪れ、現地で慰霊祭ができたことは一生忘れない思い出となった。ミャンマー国



孫と愛犬 自宅横にて

は、まだまだ日本と比べると遅れていると思われる。我が国の平和と繁栄を感じ、今後なお一層の努力を重ね、地区の皆様の役に立つことをしようと思う今日この頃です。

長浜 四三六番地
梶原 芳章

編集後記

四十四人から十八人へ

十八人ががんばります。新しい町、新しい地区、新しい議員、新しい議会だより、そして議会だより委員一同、議会と町民の架け橋たる議会だよりの発行にがんばります。九月議会は、平成十六年度の決算審査の議会です。一年間の町の収支をご報告いたします。

議会だより編集委員一同

議会を傍聴しましょう!!
次の定例会は十二月です。
役場の議会事務局で住所氏名を記入すれば、どなたでも傍聴できます。